



2013 SCP (学生キャンパス副学長) 任命式が行われました

12月4日(水)、2013 Student Campus President (学生キャンパス副学長)任命式が行われました。

薬学部、歯学部、看護福祉学部、心理科学部と今年度からは新たにリハビリテーション科学部から、選挙により選出された学生に対し、新川学長からSCP任命状と専用プレザーが手渡され、激励の言葉を頂きました。

SCPは、より良い大学づくりのために学生代表が教職員とともに各種プロジェクトの企画・立案を行い実施

する、全国でもめずらしい北海道医療大学独自の制度です。SCPの多岐にわたる活動は、全国から大変注目されています。

SCP活動状況については、随時、SCPホームページやブログにて報告いたしますので、ぜひともご覧ください。



SCPホームページ <http://scp.hoku-iryu-u.ac.jp/>

2013 各学部SCPよりご挨拶

薬学部 薬学科 1年

森地 彩花 (もりち あやか)



「学部を越えた交わり」

私はボランティア精神や奉仕する精神というのは、医療人を志す者に必要だと思っています。皆さんが興味を持って参加しやすいボランティアなどを提案していきたいと考え、学部を越えた交わり、さまざまな人と関わる環境をつくれるようにしていきたいと思っています。

SCPは、まだ6年目です。改善できる点や成長できる余地は、まだまだたくさんあるはず。皆さんの要望を取り入れ、積極的に反映させ、よりよい大学をつくっていきたくと思っています。

歯学部 歯学科 3年

大平 禎 (おおひら ただし)



「身近な存在へ」

北海道医療大学のSCP制度が始まってから今年で6年目を迎えます。私は、SCPをより身近な存在と捉えて頂く環境づくりを目指します。

去年は様々な場所へ積極的に出向いたこともあり、認知度は上がりましたが、まだそれは十分だとは感じられないからです。

学生の皆様と一緒に大学を変え、よりよい大学生活を送れる環境作りをしてみたいと思いますので、どうぞ皆様よろしくお願いたします。

看護福祉学部 看護学科 1年

高橋 霞奈 (たかはし かな)



「アイデアの実現」

私は、SCP制度を利用して、皆さんの意見を取り入れたアイデアを実現させます。

エコ対策や薬物乱用対策、他学部の学生との交流または、学生と先生方との交流などをもっともっと向上させていきたいです。そして、SCPが皆さんにとって近い存在になるように、皆さんのニーズに応えていきます。どうか宜しくお願いいたします。

心理科学部 言語聴覚療法学科 2年 岩間 花須実 (いわま かすみ)



「チーム医療の一員として」

私は、互いに医療を目指すもの同士、チーム医療の一員として協働、連携できるよう役割分担していくよう努めたいと思います。そして接遇、マナーの大切さ、対人関係能力、コミュニケーション能力を学び、伝達できるよう日々の活動を充実したものにしていきたくと思っています。

初めてのことで不安もありますが、新たなことにチャレンジし、経験したことをみなさんにお伝えできるように努力し、先輩方の伝統や活動を引き継ぎ、よりよい大学づくりを目指していきたくと思っています。

リハビリテーション科学部 理学療法学科 1年 滝澤 祐亮 (たきざわ ゆうすけ)



「大きな繋がりを目指して」

私は些細な意見・要望・不満を気軽に話し合えるような関係作りを目指していきたくと思っています。

リハビリテーション科学部は今年度新たに創設されました。先輩がいないという環境下で他学部との繋がりは特に重要であり、心強いものです。他学部との交流が盛んで様々な繋がりのある大学を目指し、そしてその繋がりが、他キャンパス、他大学、また地域の人々へと広がっていくことで皆さんの学生生活はより充実したものになるのではないのでしょうか。

大きな繋がりを目指し積極的に活動していきたくと思っています。

当別アパート組合との懇談会を開催しました (SCP参加)

平成25年10月30日(水)、本学において当別アパート組合との懇談会が開催されました。

当日は当別町在住者を含むSCP(学生キャンパス副学長)3名と、小田薬学部学生部長、森田看護



福祉学部学生部長、高橋リハビリテーション科学部学生部長ほか大学関係者が参加、松岡組合長ほか当別アパート組合の方々十数名と活発な意見交換を行いました。また、懇談会開催前には当別アパート組合の方々が見学されました。

SCPほか本学関係者による積極的かつ具体的な意見に対し、当別アパート組合より、「大変参考になる意見がきけた有意義な懇談会となった。」との言葉を多数いただきました。また「素晴らしい教育環境の中で学生さんたちが学んでいることがよくわかった」との言葉も多数聞かれました。

本学の所在地・当別町には現在、700名を超え



る学生が住んでいます。今回のような大学と地元のアパート組合との交流は全国でも例がなく、こうした交流により、本学学生の住環境の更なる向上につながる貴重な機会となっています。

当別アパート組合のホームページ

※本学学生の声が掲載されています。

<http://www.tobetsu.or.jp/t09/index.html>